2019年度第3四半期決算説明資料

2020年2月6日 日本テレビホールディングス株式会社 本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。

しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと 大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを 与えるものではありません。ご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

視聴率状況と番組編成

2019年度3Q決算について

主なグループ会社の状況

2019年度の見通し

2019年 年間「世帯視聴率」

2018/12/31(月)~2019/12/29(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	HUT
全 日	1 7.9	7.6	5.9	2.5	5.7	39.9
6時~24時	±0.0	▲0.1	▲0.4	▲0.3	±0.0	▲0.8
プライム	11.3	10.9	9.2	5.5	8.1	56.7
19時~23時	▲0.3	+0.3	▲0.8	▲0.5	+0.4	▲1.2
ゴールデン	11.6	10.8	9.2	6.0	8.4	59.3
19時~22時	▲0.4	+0.3	▲ 1.0	▲0.5	+0.6	▲1.3
ノンプライム	1 6.9	6.7	5.0	1.7	5.1	35.1
全日-プライム	+0.1	▲0.1	▲0.3	▲0.1	±0.0	▲0.7
プラチナ	1 6.3	5.3	4.2	2.4	3.7	27.1
23時~25時	▲0.1	▲0.1	▲0.4	±0.0	▲0.1	▲1.2

注:

- 1. 表示は左からデジタルチャンネル順
- 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ
- 3. 下段は前年度との差 比較期間:2018/01/01(月)~2018/12/30(日)

視聴率の状況

- 1 2019年·年間 〈世帯〉三冠王獲得! 6年連続で〈世帯〉年間視聴率三冠王
- 2 各時間帯・各エリア・若年層でも高視聴率獲得! 「プラチナ」ゾーン・「ノンプライム」ゾーンも年間1位獲得 日本テレビ系列26地区中、22地区で三冠王獲得 特に、クライアントニーズの高い若年層で圧倒的支持
- 3 2019年〈年度〉でも、三冠で推移! (2020年1月31日現在)

2020年度4月改編について

【改編のテーマ】

- ◆生活者ファーストであり、 クライアント満足を最大化するタイムテーブルの追求 →地上波タイムテーブルの「新化」と「深化」の徹底
- ◆若者のテレビ離れが叫ばれる中、「次世代視聴者」の開拓
 - →テレビの枠を超えて、生活者を「オフからオン」にさせる 積極視聴コンテンツの編成
 - ① GP帯の積極視聴強化
 - ② 週末BC帯の若年視聴者開拓
 - ③ 平日ベルト番組の更なるブランド化

視聴率状況と番組編成

2019年度3Q決算について

主なグループ会社の状況

2019年度の見通し

2019年度第3四半期 連結決算概況

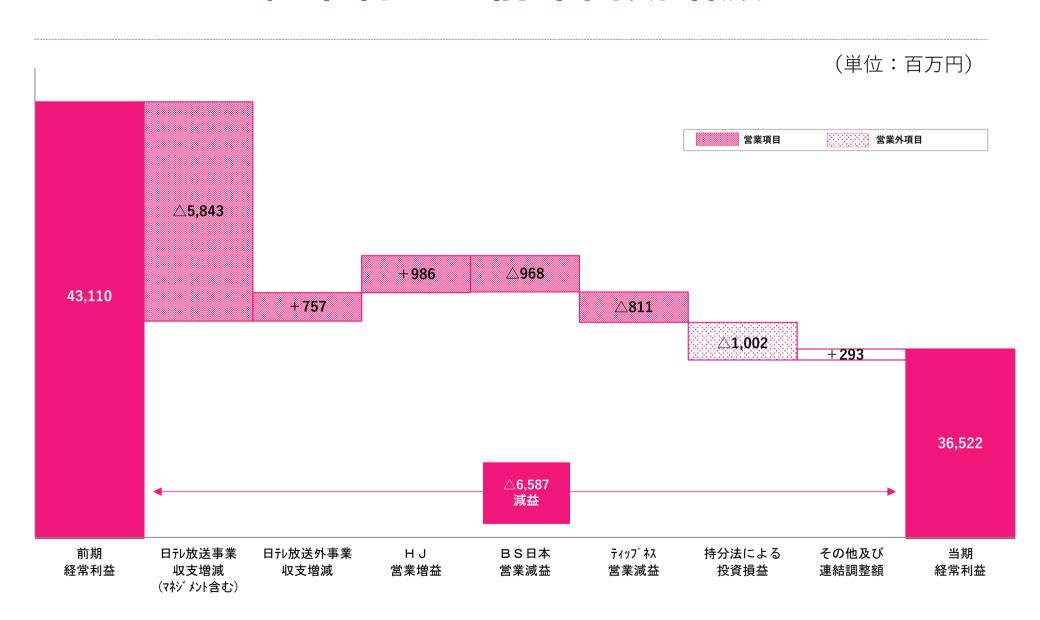
売上高は、日本テレビの放送外事業収入増、HJホールディングスの会費収入増、連結子会社化したPLAYの映像配信ソリューション売上増等により増収。 利益面では、日本テレビの放送外事業収支増、HJホールディングスの増益等があったものの、日本テレビ、BS日本の放送事業収支減、番町スタジオ、BS4Kに関する減価償却費増等があり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減益。

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	增減率 (%)
売上高	316,786	317,056	0.1
営業利益	37,349	30,899	△17.3
経常利益	43,110	36,522	△15.3
親会社株主に 帰属する四半期純利益	28,783	24,139	△16.1

売上高の前年同期増減内容

(単位:百万円) +276 +1,106+3,157316,786 △8,383 317,056 +881+3,233+269 増収 PLAY 前期 日が地上波 日テレ ハ゛ッフ゜ ΗJ その他及び 当期 売上高 広告収入 事業収入 連結調整額 売上高

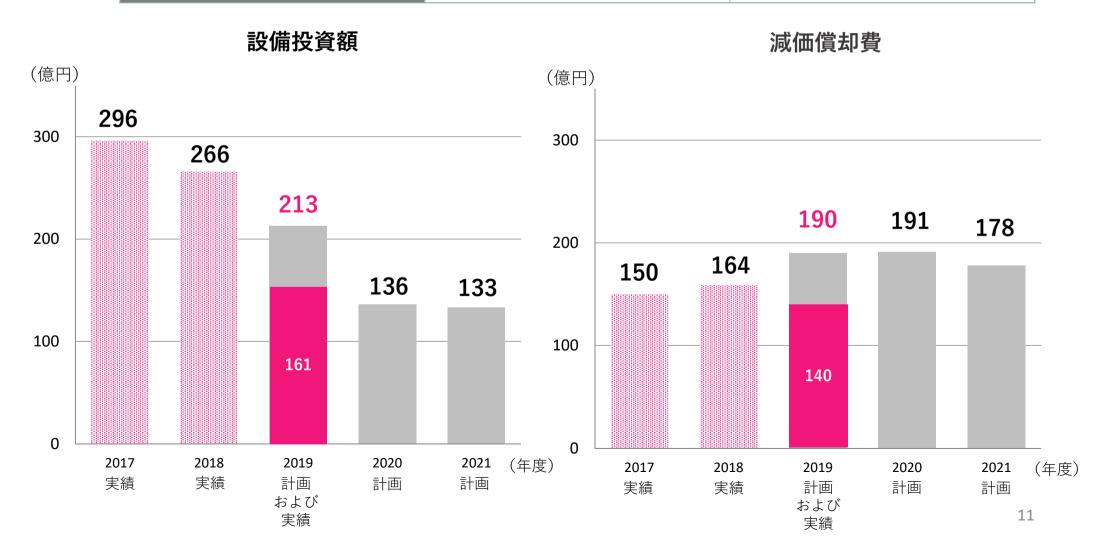
経常利益の前年同期増減



設備投資・減価償却費(連結)

(単位:億円)

2019年度	19年度 第3四半期	設備投資額	減価償却費
2013千良 第3四十朔	161	140	



視聴率状況と番組編成

2019年度3Q決算について

主なグループ会社の状況

2019年度の見通し

日本テレビ放送網 決算概況

売上高は、放送外事業収入の増加があったものの、放送事業において主にスポット 収入が減少し減収。

利益面では、番組制作費の減少や放送外事業収支の増加があったものの、放送収入の減少、2019年1月より稼働した番町スタジオに関する減価償却費増等により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減益。

	2018年度 第3四半期	2019年度 第 3 四半期	增減率 (%)
売上高	232,472	227,190	△2.3
営業利益	29,524	24,732	△16.2
経常利益	34,500	28,880	△16.3
四半期純利益	24,783	19,869	△19.8

日本テレビ放送網 営業収入

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減率 (%)
放送収入	190,329	181,945	△4.4
番組販売収入	8,600	8,533	△0.8
事業収入	31,949	35,183	10.1
不動産賃貸収入	1,592	1,528	△4.1
合計	232,472	227,190	△2.3

日本テレビ放送網 放送収入

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	增減率 (%)
放送収入	190,329	181,945	△4.4
タイム	93,596	93,180	△0.4
スポット	96,732	88,765	△8.2

日本テレビ放送網 営業費用

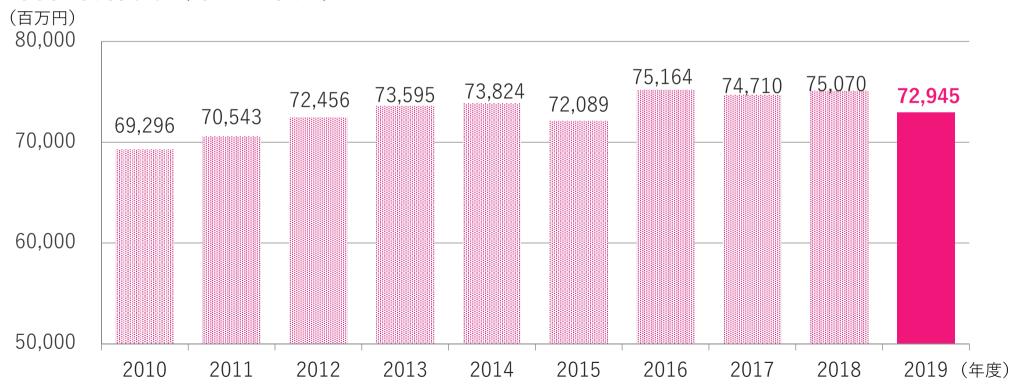
	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	增減率 (%)
番組制作費	75,070	72,945	△2.8
人件費	16,412	16,489	0.5
減価償却費	6,873	9,046	31.6
事業費	24,858	26,585	6.9
その他	79,732	77,391	△2.9
合計	202,947	202,458	△0.2

日本テレビ放送網 番組制作費

(単位:百万円)

2018年度	2019年度	增減率
第3四半期	第3四半期	(%)
75,070	72,945	△2.8

番組制作費(第3四半期)



日本テレビ放送網 事業収支

		2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期
	収入	6,979	7,406
有料放送	費用	3,738	3,902
	収支	3,241	3,504
	収入	1,538	1,502
ライツ	費用	939	558
	収支	598	944
	収入	6,772	7,025
通販	費用	6,365	6,339
	収支	408	686
	収入	2,970	4,458
映画	費用	2,337	4,020
	収支	633	438

		2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期
	収入	6,465	3,683
イベント	費用	5,370	3,289
	収支	1,095	394
	収入	1,617	1,627
海外ビジネス	費用	915	602
	収支	702	1,025
	収入	5,609	9,482
その他	費用	5,194	7,875
	収支	415	1,607
合計	収入	31,949	35,183
	費用	24,858	26,585
	収支	7,091	8,598

その他グループ会社の状況①

(単位:百万円)	BS日本	CS日本	日テレ・ テクニカル・ リソーシス゛	日テレ アックスオン	日テレ イベンツ	日本テレビ アート
売上高	11,456	3,593	8,189	16,268	2,586	6,089
	(2.5%)	(△3.7%)	(4.7%)	(△0.4%)	(1.2%)	(3.4%)
営業利益	566	610	210	382	13	145
	(△63.1%)	(6.7%)	(20.9%)	(△37.5%)	(△68.8%)	(5.9%)
経常利益	591	619	233	395	15	151
	(△62.7%)	(6.4%)	(21.6%)	(△36.5%)	(△64.8%)	(5.5%)
四半期純利益	400	428	159	259	5	112
	(△63.1%)	(7.4%)	(22.6%)	(△36.9%)	(△79.8%)	(15.0%)

(単位:百万円)	日本元ピ	バッ プ	ティップ゜ネス	日本テレビ サービス	日本テレビ ワーク24	フォアキャスト・コミュニケーションズ
売上高	9,592	9,832	27,846	2,816	3,284	2,369
	(9.4%)	(9.8%)	(△2.6%)	(16.2%)	(0.8%)	(△21.2%)
営業利益	1,616	△ 684	1,466	97	200	46
	(17.8%)	(−)	(△35.6%)	(△13.4%)	(58.6%)	(△49.5%)
経常利益	1,657	△ 556	1,279	106	190	168
	(16.0%)	(−)	(△38.3%)	(△11.5%)	(21.0%)	(△6.5%)
四半期純利益	1,148	△ 541	830	59	△ 605	137
	(14.8%)	(−)	(△52.8%)	(△13.6%)	(−)	(-)

注: ()の数値は前期比増減率を表しています。前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記しています。

その他グループ会社の状況②

(単位:百万円)	日テレIT プロデュース	営放 プロデュース	日テレ7	タツ <i>ノ</i> コフ゜ロ	HJホール ディングス	ACM	PLAY
売上高	2,942	1,603	2,368	1,291	18,149	2,956	2,846
	(45.7%)	(6.5%)	(△9.0%)	(1.7%)	(21.1%)	(4.7%)	(-)
営業利益	317	103	74	△ 6	969	△ 149	690
	(53.6%)	(△59.5%)	(△17.3%)	(−)	(-)	(−)	(-)
経常利益	318	94	76	0	971	△ 123	688
	(54.2%)	(△62.0%)	(△16.8%)	(△99.5%)	(9,518.7%)	(−)	(-)
四半期純利益	207 (45.2%)	92 (△62.0%)	50 (△17.4%)	△ 0 (−)	982 (-)	△ 124 (−)	343 (-)

- 注:()の数値は前期比増減率を表しています。前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記しています。 また、2019年7月に連結子会社化した(株)PLAYの増減率は「-」表記しています。
 - (※) 2019年7月1日付で、連結子会社のスキルアップ・ビデオテクノロジーズ(株)は非連結子会社の(株)ロジックロジックと合併いたしました。 新会社の社名を「(株)PLAY」に変更し、新たに連結の範囲に含めております。
 - (※) (旧)(株)日テレITプロデュースは2018年7月2日付で「(株)営放プロデュース」に商号変更を行い、 また同日付で「(株)日テレITプロデュース」(営業放送システム関連事業以外の資産及び負債を承継)を新設分割しています。

視聴率状況と番組編成

2019年度3Q決算について

主なグループ会社の状況

2019年度の見通し

連結業績予想及び配当予想

連結業績予想 *今回、業績予想の変更はありません。

(単位:百万円)	2018年度実績	2019年度予想	増減率(%)
売上高	424,945	425,000	0.0
営業利益	49,749	39,000	△21.6
経常利益	57,398	44,500	△22.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	38,739	28,000	△27.7

(ご参考) 2019年度地上波テレビ広告収入と制作費の見込み(前期比)

(単位:%)	通期予想
テレビ広告収入	△4.5
(うちタイム)	△1.1
(うちスポット)	△7.8
制作費	1.9

*今回、変更はありません。

配当予想 * 今回、配当予想の変更はありません。

(単位:円)	第2四半期末	期末	合計
2018年度(実績)	10	25	35
2019年度(予想)	10	25	35

補足資料

セグメント別 実績

2019年度		報告セク	ブメント		くるの他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書
第3四半期	メディア・ コンテンツ事業	生活・健康 関連事業	不動産 賃貸事業	計	ての他	口前	- 调定 积	計上額
売上高	284,289	27,846	7,579	319,715	5,831	325,546	△8,490	317,056
セグメント利益	27,871	303	2,885	31,060	390	31,451	△552	30,899

事業区分	主な事業内容
メディア・コンテンツ 事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像配信ソリューション事業、 映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、 イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託、テーマパークの企画・運営
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

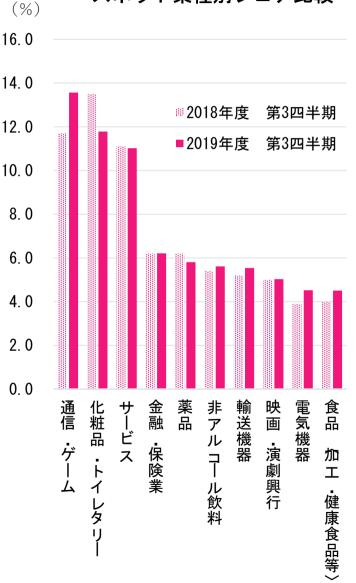
日本テレビ放送網 放送収入 前年同月比

タイム	2018年度 (%)	2019年度 (%)
4月	3.2	△3.2
5月	1.0	△2.1
6月	16.0	△10.9
7月	5.3	△5.8
8月	1.4	0.9
9月	0.6	9.2
10月	△2.5	8.7
11月	△0.1	0.2
12月	3.1	0.0
10月-12月	0.3	2.8
4月-12月	3.0	△0.4

スポット	2018年度 (%)	2019年度 (%)
4月	0.4	△1.9
5月	△6.6	△11.2
6月	0.1	△5.9
7月	0.0	△4.5
8月	0.3	△7.7
9月	△5.8	△10.5
10月	0.5	△15.7
11月	0.4	△10.2
12月	△4.7	△7.2
10月-12月	△1.3	△10.9
4月-12月	△1.8	△8.2

スポット業種別売上シェア - 地上波(日本テレビ放送網)

スポット業種別シェア比較



	2018年度 第3四半期	シェア (%)	増減率 (%)
1	化粧品・ トイレタリー	13.5	△9.7
2	通信・ゲーム	11.7	△9.9
3	サービス	11.1	32.3
4	金融・保険業	6.2	19.3
5	薬品	6.2	△14.2
6	非アルコール飲料	5.4	△9.9
7	輸送機器	5.2	△12.1
8	映画・演劇興行	5.0	△6.9
9	食品<加工・ 健康食品等>	4.0	8.9
10	電気機器	3.9	△10.5

2019年度 第3四半期	シェア (%)	增減率 (%)
通信・ゲーム	13.6	6.4
化粧品・ トイレタリー	11.8	△19.9
サービス	11.0	△8.7
金融・保険業	6.2	△8.4
薬品	5.8	△13.4
非アルコール飲料	5.6	△4.9
輸送機器	5.5	△2.1
映画・演劇興行	5.0	△8.4
電気機器	4.5	5.9
食品<加工・ 健康食品等>	4.5	2.9

注:増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

2019年度「世帯視聴率」 (※途中段階で集計)

2019/04/01(月)~2020/02/02(日)

(単位:%)	NTV	EX	TBS	TX	СХ	HUT
全 日	1 7.9	7.6	5.9	2.6	5.7	39.9
6時~24時	+0.1	▲0.1	▲0.3	▲0.1	±0.0	▲0.5
プライム	11.2	10.9	9.1	5.5	8.0	56.5
19時~23時	▲0.3	+0.3	▲0.8	▲0.4	+0.1	▲1.0
ゴールデン	11.5	10.7	9.1	6.0	8.3	59.1
19時~22時	▲0.4	+0.2	▲0.9	▲0.3	+0.2	▲1.0
ノンプライム	1 6.9	6.6	5.0	1.7	5.1	35.1
全日-プライム	+0.1	▲0.3	▲0.2	▲0.1	±0.0	▲0.4
プラチナ	 6.3 	5.2	4.1	2.4	3.7	26.8
23時~25時	▲0.2	▲0.3	▲0.4	▲0.1	▲0.1	▲1.4

注:

- 1. 表示は左からデジタルチャンネル順
- 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ
- 3. 下段は前年度との差 比較期間: 2018/04/02(月)~2019/03/31(日)

HJホールディングス概況

- 大晦日に放送の「ダウンタウンのガキの使い大晦日スペシャル『絶対に笑ってはいけない青春ハイスクール24時!』」を今年もHulu独占で見逃し配信初の取り組みとして、豪華ゲストの未公開映像を織り交ぜた「絶対に笑ってはいけない青春ハイスクール24時!裏も表もお見せしますスペシャル!」を期間限定配信
- Huluオリジナルドラマ「ブラを捨て旅に出よう〜水原希子の世界一周ひとり旅〜」を2020年1月24日から独占配信中
- 1月期の日曜ドラマ「シロでもクロでもない世界で、パンダは笑う。」最終回後に Huluオリジナルストーリーを配信予定



2020年 映画事業の主なラインナップ

☆=日テレ主幹事 ★=日テレ共同幹事 ■=Hi-AX作品

公開	作品名	配給	備考	
3/13 (金)	■貴族降臨 PRINCE OF LEGEND	東宝	白濱亜嵐率いる"貴族"と片寄涼太率いる"王子"が火花を散らす!美しい男たちの史上空前のバトル! 監督:河合勇人 出演:白濱亜嵐 片寄涼太 鈴木伸之 川村壱馬 佐野玲於 関口メンディほか	ALSHE SOULT SHOULD SHOULD BE ASSESSED.
4/17 (金)	名探偵コナン 緋色の弾丸	東宝	前作は7年連続シリーズ興行記録樹立(興収93.2億)。 劇場版「名探偵コナン」第24弾! 監督:永岡智佳 声の出演:高山みなみ 山崎和佳奈	ま ロリ カカ カカ カカ カカ カカ カカ カカ カカ カカ カ
5/15 (金)	★水曜日が消えた	日活	日テレ×日活共同幹事作品 中村倫也が一人七役。 新しい才能、吉野耕平の初長編監督作品 監督・脚本・VFX:吉野耕平 出演:中村倫也	水曜日が消えた Make Make 2020.5

2020年 映画事業の主なラインナップ

☆=日テレ主幹事 ★=日テレ共同幹事 ■=Hi-AX作品

公開	作品名	配給	備考	
6/5 (金)	☆劇場版 奥様は、取り扱い注意	東宝	2017年放送の大ヒットドラマの劇場版。 奥様は元特殊工作員、夫はエリート公安警察 敵か味方か?衝撃のドラマ最終話から新たな物語が 今、始まる! 監督:佐藤東弥 出演:綾瀬はるか 西島秀俊ほか	の最後美味がスクリーンに持ってくる! あの最後美味がスクリーンに持ってくる!
7/17 (金)	☆今日から俺は!!劇場版	東宝	社会現象を巻き起こした2018年放送の大ヒットドラマの劇場版。 三橋×伊藤 伝説のあの二人が帰ってくる! 監督:福田雄一 出演:賀来賢人 伊藤健太郎ほか	197b

ボストン美術館展 芸術×力

げいじゅつとちから

4/16(木)~7/5(日)

東京都美術館 (東京・上野公園)



2020年、"日本の宝"が帰ってくる!

古今東西の権力者たちは、その力を示し、維持するために芸術の力を利用しました。威厳に満ちた肖像画は権力を強め、美しい工芸品は彼らの宮廷を彩っていました。本展では、エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、日本などさまざまな地域で生み出された約60点の作品をとおして、力とともにあった芸術の歴史を振り返ります。

「日本にあれば国宝」とも言われる《平治物語 三条 殿夜討巻》と《吉備大臣入唐絵巻》も揃って里帰り。 お見逃しなく!!

【久喜】4/18 (土) 久喜総合文化会館・大ホール 【佐野】4/19 (日) 佐野市文化会館・大ホール 【東京】4/25 (土) 文京シビックホール・大ホール 【宇都宮】4/26 (日)

宇都宮市文化会館・大ホール 【川崎】4/29 (水祝)

カルッツかわさきホール

バルタンがすりさられ 【**川口**】5/2(土)

川口総合文化センターリリア・

メインホール

【相模大野】5/16(土)

相模女子大学グリーンホール・ 大ホール

【市川】5/17(日)

市川市文化会館・大ホール

それいけ!アンパンマン ミュージカル 「**勇気の花に歌おう**♪」



初めてのミュージカルは アンパンマンで決まりっ♪

アンパンマンがみんなの町にやってくる! しらたまさんのコンサートを舞台に、アンパンマンたちが大活躍!各地夕方公演では好評のハイタッチ会を実施するほか、朝昼公演でもアンパンマンたちがお見送りしてくれるよ! 一緒にうたっておどろう!

4/24(金)~5/31(日)

期間

アソビル3階 STAMP HALL リラックマ&すみっコぐらし フェスティバル

イベント名



大人気キャラクターが夢のコラボレーション☆ リラックマとすみつコぐらしの全てがつまった"リラック マ&すみっコぐらしフェスティバル"がやってくる♪

内容

会場では、それぞれのパビリオンの衣装を着た、 キャラクターたちがお出迎え。楽しいしかけやフォ トスポットなど、ここでしか体験できない、わくわ くが盛りだくさん!もちろん、ここでしかゲットで きない、リラックマ&すみっコぐらしのオリジナル コラボレーショングッズも登場!

【東京】

4/25 (土)~5/11(月) 新国立劇場 中劇場

【大阪】

8/13(木)~8/18(火) シアター・ドラマシティ

【群馬】

8/23(日) 太田市民会館

【名古屋公演】

8/28(金)~8/30(日) 愛知県芸術劇場大ホール

【富山公演】

9/5 (土)~9/6(日) オーバード・ホール

丸美屋食品ミュージカル アーー



1930年代のNYを舞台に、孤児アニーの活躍を描いた 本格ミュージカル。

夢いっぱいのストーリーと、数々の名曲が人気で今日 年で35年目の上演となります。

【出演】

アニー(Wキャスト):

荒井美虹(チームバケツ)・徳山しずく(チームモップ) ウォーバックス:藤本隆宏/ハニガン:マルシア/ グレース: 蒼乃夕妃 / ルースター: 栗山航 / リリー: 河 西智美

期間	イベント名	内容
	FUJI&SUN2020	
5/16(土)・17(日) 富士山こどもの国 (静岡県)	FUUI SUIN Music, Cinema, Sports and Camp.	音楽、映画、アクティビティを軸に、キャンプをしながら自由きままに楽しむキャンプインフェス!
	巌流島	横浜流星(宮本武蔵)×伊藤健太郎(佐々木小次郎) 「世紀の対決」を描く、新アクション時代劇、誕生!
7月末〜9月上旬 東京、大阪、名古屋、福 岡ほか		横浜流星主演! 伊藤健太郎共演! 何のために戦うのか…。何のために生きるのか…。 関門海峡に浮かぶ「巌流島(船島)」で繰り広げられた大勝負、その壮絶な戦いを、壮大かつ画期的なアクション時代劇として描き出します。 主演の宮本武蔵には2019 年最も注目を集め、ブレイクナンバー1の人気俳優、横浜流星、そして佐々木小次郎は近年ますます活躍の場を拡げ、若手俳優として今注目度抜群の伊藤健太郎が演じます。圧倒的迫力で魅せる大立ち回り、人間ドラマが織り成す決闘の真実。 今回の舞台化に伴ない、新解釈、新設定をもとに新たに脚本を創

り上げ、オリジナル作品として上演!

期間	イベント名	内容
7/7 (火)~7/26(日) 東急シアターオーブ (渋谷ヒカリエ11階)	ブロードウェイ・ミュージカル 天使にラブ・ソングを (シスター・アクト)	あの大ヒット映画からうまれた超パワフルな ハッピーコメディミュージカルが再び!! 映画版主演のウーピー・ゴールドバーグが自らプロデュースし、 ミュージカル化が実現。ディズニー映画でお馴染みのアラン・メ ンケン(『アラジン』『美女と野獣』『リトル・マーメイド』) 作曲による音楽は、キャッチーでノリノリなナンバーの数々!過 去2回の来日公演では売切公演続出の大人気ミュージカル!観れば 思わず溢れる笑顔と涙!映画の感動をそのままに、何度観ても満 足できる愛されミュージカルの決定版、今年7月来日! どうぞお楽しみに!
8/29(土)〜12/6(日) 寺田倉庫G1ビル (東京都品川区東品川2-6-4)	バンクシー BANKSY展 (仮称)	今年8月、 TOKYOで初開催が決定!!! あの"シュレッダー事件"で有名な「風船と少女」を制作した正体不明のアーティスト"BANKSY(バンクシー)"。謎に包まれた作家としてのこれまでの軌跡を、バンクシー自身がプライベートコレクターに譲った珠玉のオリジナル作品で辿る"東京初"の『BANKSY展(仮称)』が、2020年8月29日(土)~12月6日(日)まで、寺田倉庫G1ビル(東京都品川区東品川2-6-4)で、以降大阪巡回も開催決定!詳細発表は今春を予定、乞うご期待!!